

令和2年5月8日

生徒の皆さんへ

内灘中学校長 谷内 正樹

前を向いて、今できることを精一杯やろう 感謝の気持ちで

全国高等学校体育大会（インターハイ）に続き、夏の全国中学校体育大会、いわゆる全中の中止も決定しました。そこにつながる北信越大会や県大会、加賀地区予選も開催が難しい状況となっています。日本中学校体育連盟も何とか開催できないかと模索していたようですが、現状を考え、皆さんの命が何より大切だということからの判断だということです。この夏を目標に頑張っていた皆さんにとっては、とてもつらい決定だと思います。本当に残念です。先生方もとてもつらく悔しい気持ちです。

しかし、決まった以上はどうすることもできませんし、悔しがってばかりいても何も始まりません。なかなか難しいとは思いますが、前を向いて、次なる目標に心を切り替えて、今できることに精一杯の気持ちで取り組んでほしいと思います。切り替えるしかありません。

何はともあれ、今はコロナウイルスの感染拡大を克服することが最優先です。そして、家庭学習にしっかりと取り組み、学習に向かう気持ちを切らさないことです。政府の緊急事態宣言が5月末まで延長されたように、まだまだ感染は収まりを見せていませんが、一人一人が強い気持ちを持って自分のできることをしっかりとやり、この難局に立ち向かいましょう。

みんなで前を向こう。立ち向かおう。内中生の強さをみせよう。

ただ逆に考えると、こんなつらい経験をしたのは皆さんが初めてです。難しいことですが、ここから何かを学んでほしいと思います。「当たり前がいかにもありがたいことなのか」「実は多くの人たちに支えられて生活していた」「辛い思いに立ち向かうことで強くなれる」・・・こんな時こそプラス思考で頑張りましょう。

新型コロナウイルスと最前線で戦っている医療従事者の皆様や
社会機能の維持のために就業している皆様に感謝

新型コロナウイルス感染症の治療にあたっている医師や看護師など医療従事者の皆さんは、最前線でこのウイルスと対峙しています。感染リスクを防ぎながら、大きなプレッシャーの中で献身的に頑張ってくださいています。他にも、小売店や物流、公共交通機関など、社会機能の維持のために頑張ってくださいている方々もたくさんいらっしゃいます。仕事とは言え、感謝しかありませんね。

しかし、一部ではそんな方々へ偏見の目を向ける人たちもいるようで、とても残念でありません。

内灘中では、生徒会を中心に学校全体で「いじめをなくす取組」や「感謝の気持ちを表す取組」を進めてきましたね。

今こそ、内中生として、私たち一人一人が何をすべきか考えて行動しましょう。